



# I class

劇

「十二支のはじまり」

指導担当 宮地 あゆみ

劇遊び「十二支のはじまり」  
幼児教育学科 Iクラス (指導教員: 宮地 あゆみ)

### 1. 表現テーマ

劇遊び「十二支のはじまり」

### 2. 発表のねらい

#### (1) ねらい

- ・絵本を題材にする事で十二支がどのように始まったかを再現する。
- ・劇の中に運動会を取り入れ、役を演じながら遊ぶ楽しさを味わう。
- ・方言を取り入れる事で親しみを味わう。



(執筆担当: 伊藤未紗希)

#### (2) 劇遊びにした理由

クラスのメンバーそれぞれの個性を一番発揮することが出来るのが劇遊びではないかと考えたからです。実際に演じてみて、それぞれの役の個性がしっかり出せたと思うと同時に、練習の段階からお互いの演技を見せ合い、意見を出し合うことでより良いものが出来たと感じています。また、見ている人に楽しんでもらうことはもちろんのこと、私達自身もとても楽しみながら出来たのは劇遊びだったからだと思います。

(執筆担当: 赤星友梨)

### 3. 劇を作るまでに取り組んだこと

#### (1) 題材を選んだ理由と物語のアレンジ

十二支とはどの様にできたのか子ども達へ伝え、その中で、地道に考えることやズルさを考える事、競い合うことなどの様々な感情を表現できると感じ、この絵本を選びました。

また、動物達が順番に門に入っていくシーンは、絵本には無かった運動会というテーマを別に作り、それぞれで様々な運動遊びを考え取り入れ表現しました。

(執筆担当: 吉田翔子)

#### (2) 配役について

「十二支のはじまり」は、十二支だけでなく、猫や神様など十二支以外の登場人物も沢山出てきます。そのため、どの役が必要か、どの役を削ったり、人形で代用したりするのか等最善の方法を考えながら配役を行いました。また、それなりたい役を挙げ、全員で話し合いを行い、意見を出し合いながら決めました。

(執筆担当: 宮本千穂)



### (3) 音楽・BGMについて

それぞれのシーンにあった効果音や曲を選びました。猿と犬の喧嘩や最後の鼠と猫が走り回るところも見ている人に楽しんでもらえるように工夫をしました。

(執筆担当：今泉美優)

### (4) 背景の映像、照明の工夫について

場面ごとに見る側が想像を深められるように、物語に出てくるペアごとに背景や照明を考えて決めました。

(執筆担当：井手莉穂)

### (5) 大道具・小道具の工夫

#### ① 岩・草・木について

岩、草、木を作ることになり、岩や草は何個ずつ必要かを考えたり、どのようにして作るのかを考えたりしながら作っていました。岩では、ダンボールを岩の形に切り、草も同じようにダンボールを使い、草の形に切っていきました。それぞれの形になり次は岩や草を立たせるためにどのようにすればいいかを考えながらみんなで作りました。色塗りでは、舞台からしっかりと見えるように濃く塗っていくようにしました。草に花を描いたり、紙で作った花を付け加えたりなど、ひと工夫もしていきながら作っていくことができました。また、木では木に近づけるように模造紙に一度緑を塗り、破りながら貼っていくことでより木に見えるように工夫をしました。

これらの岩、草、木はねずみの隠れる場所として役に立ったり、外の雰囲気を出すことができたりなどしっかりと役立てることができたので、作ってよかったですなと思いました。

(執筆担当：久木迫璃央)

## ②龍・蛇について

当初クラスの話し合いで役割分担を振り分け作業を進めていく事が決まりました。

私は衣装を担当しましたが、作業が進む中で最終的にどの役割でもクラス全員が取り組む形になり、結果的にそれぞれの考えが反映されてよかったです。大道具の作業では、龍と蛇の作成を担当しました。保育相談支援の授業で教わった、パペットの作成を参考にしました。大きさ・色合い・装飾等を検討しながら作成した中で一番大切にした事は表情です。子ども等が喜ぶパペットになるように、目の位置やチークで愛嬌のある表情を工夫しました。舞台での見せ方は映像を検討していましたが、全体の話し合いで実際に舞台に登場することになりました。最後に十二支みんな揃って、新年の挨拶ができるよかったです。

(執筆担当：進藤希代子)

## ③門について

最初に台本からのイメージを基に考えるところから始めました。

皆の意見を取り入れながらステージでは、どの位置に置くのかを決め、次に門を作る材料を何にするか等をみんなでアイデアを出しました。

カーテンやベニア板、段ボールで門を作るとの案もでていたのですが、門の位置変更の必要性や台本のアレンジもあり、搬入搬出、片付けに要する時間も考えマットで門を作ることにしました。マットの向きや色を調整しバランスよくつくることができました。動物たちが競争していく流れもうまく演出できたのではないかと思いました。

運動会をイメージし十二支のイラストを貼り、子ども達が何が始まるのか楽しんで観てもらえるように作ることが出来ました。

(執筆担当：松瀬和子)



## (6) 衣装について

衣装では鼠・牛・虎・兔・馬・羊・猿・鳥・犬・猪・猫・神様のようにそれぞれの動物の耳や色合い、神様をアレンジして子どものような服装にしました。まず、どのような感じにするか、何が必要かなどを話し合いました。話し合いの中でも、様々な意見がでてきて良い衣装が個人個人で作られていきました。また、神様は始め仏と考え法衣を着用となっていました

が、面白くなるのではと提案があり、子どもの設定となりました。それにより、子どもらしい服装となり、より一層楽しく面白くなつたと思います。衣装で使用した材料では、フェルトや綿、カチューシャなどでした。

最後に裁縫を使うのは久しぶりであったと思いますが、皆素晴らしい衣装となり良かったと思います。

(執筆担当：桑原千穂)



#### (7) 練習で工夫したこと

練習で工夫したことは、声の大きさです。声は、劇をする中でとても大切なものです。練習は、広い教室での練習が多かったけれど、本番は、講堂。とても広く、二階の席もあります。講堂全体に響く声が必要になります。練習では、声が小さいといわれ、声を出す練習をしました。腹式呼吸を上手く使い出す練習、クラスの人とも協力し合い、声の練習をしました。上手く出せなかった人も、練習をする内に少しづつ声が大きくなり、講堂での練習に入ってからも、腹式呼吸を上手く使い、大きく声を出すことをイメージし、頑張りました。本番に近くなり、練習初め頃に比べると全く違った声が大きく出せるようになりました。クラスの皆で協力することが出来た結果だと思います。本番は、素敵な劇をすることが出来たので良かったです。

(執筆担当：笠井春希)

#### 4. おわりに・・・

今回の発表は「手ぶくろ」「十二支のはじまり」「はらぺこあおむし」を実際に読み、なるべく2年生全員が役割を持つことが出来るお話を選ぼうと話し合いをしました。その中で沢山の登場人物が出てくる「十二支のはじまり」が一人ひとりの個性を生かせると思いこの絵本を選びました。台本作り、衣装、大道具など役割分担をして進め、皆で協力をして劇作りを行いました。講堂を使っての練習が少ない中、吉柳先生からの助言や指導を生かして劇作りを行えたことは私たちが保育者になった時に参考になると共に、子ども達の立場に立って考えることも大切なんだと学びました。

(執筆担当：松延美奈)



## 遊びと表現発表会を終えての感想

【2年】

吉田翔子

私は、今回遊びと表現発表会を行うにあたり、台本作りと牛役として出演しました。まず、台本作りは担当者で絵本を基に1から作り出す作業から入りました。正直、どの様に作ったら良いか分からず色々な参考文献を見ながら作り、クラス全体でもっとここはこうした方が良いなど意見を貰いながら作ることが出来ました。

作品を作り上げるまでに、沢山のトラブルや意見のぶつかり合いがあり、悩み苦しんだ部分も本番で出し切った分やり切った嬉しさや安堵感はとても大きかったです。

制作を進める中で、委員を中心にこの、「十二支の始まり」を作り上げた事は今後、保育者になる上で良い学びとなりました。Iクラス全員で無事成功に終わることが出来て本当に良かったです。

赤星友梨

今回の遊びと表現発表会を終えて、様々なことを学びました。劇遊びにすると決めてから役割分担を行いそれぞれの役割を全うする中で、意見がすれ違ってしまい、情報が上手く伝わらなかったこともあります。そのような時にクラス皆で集まって意見の整理をすることで最善の方法へと進めることができたと思います。

劇の練習を行う中では、台詞を言うということがどれだけ難しいことかを実感しました。ただ台詞を言うのではなく、動きを付けたり、道具を用いることで見ている人に分かりやすい工夫をすることが大切だと学びました。

また、昨年は、見ているだけでしたが今年は自分たちが率先して動かなければいけないという責任感を強く感じ、そのことに難しさを感じた時が多くありました。その際も、クラスの皆で協力し合うことで乗り越えられた部分が沢山ありました。一人ひとりの個性がしっかりと出せるこのクラスで劇を出来て本当に良かったです。

## 井手莉穂

去年は2年生の先輩の劇に出させてもらい、練習風景や準備などを間近で見ることが多かったのですが、実際に企画・出演する立場になると、見てきたよりの何倍も苦悩することがあり、普段のクラスとは違う緊張感のある雰囲気が続き、その中でそれがぶつかり合うことも多々ありました。

私はクラス長として、委員をしっかりと支える立場になったり、委員と他のメンバーを結ぶ役割を出来たかと言われると、胸を張って出来たとは言えませんが、先生や委員によくやっていると言っていただけることはこれから就職してから働く上での自信になると思います。最後にクラスで1から作り上げ、やり遂げることが出来て本当に良かったです。



## 伊藤未紗希

私は今回遊びと表現委員をさせて頂きました。劇をするということは前から決まっていましたが、何の劇にするかは決まっていませんでした。

そこで、「十二支のはじまり」「てぶくろ」「はらぺこあおむし」の本を実際に読みあげるなかで、1番「劇にしたい」と意見が大きかった「十二支のはじまり」に決まりました。台本、小道具、衣装を遊びと表現委員がそれぞれに役割り分担をし、さらに細分化し一人ひとりの役割を振り分けるなかで進めていきました。私は、台本の担当になりましたが、戸惑うことも多く、みんなに迷惑をかけてしまった場面も多々ありました。そのぶん、みんなをまとめることを意識し、まとめ役に徹することにしました。そのため、空き時間などを使い皆で練習をするように声をかけたり、小道具の準備をする時間を作ったりし、スムーズに作業が出来るようなコーディネートをしました。私のコーディネートがあまり良くなく、みんなを困らせた部分がとても多かったですことを、振り返り反省しています。

遊びと表現を通して、クラスの雰囲気が悪なったり、色々面でぶつかったりしながらも、最後までやり遂げる事が出来てよかったですと思いました。委員として頼りない場面も多々ありましたですが、みんなが最後まで協力して何かを遂げたことは、とても良い経験と思い出になりました。

遊びと表現を通して本当に沢山の事を学ぶことが出来てよかったです。これら

の経験は、保育士となる上でとてもいい学びになりました。



### 今泉美優

遊びと表現ではたくさんのこと学びました。台本作りや衣装係、小道具と一人一人役割を決めて取り組みました。トラブルなどもあり本番までにできあがるのか心配でしたが皆が協力して作り上げることができました。

劇の練習では、最初声がでなくて声ができるように発声練習のやり方を教えてもらいました。練習していくと最初にくらべて声はできるようになりよかったです。先生達からの指導もありそれぞれの動物の動きを取り入れ、役になりきることを大事に練習しました。それぞれのシーンでアドバイスや意見を出し合い作品を完成させることができました。

本番では、お客様や自分達も楽しめる劇ができてよかったです。Iクラス全員で劇を行えたことはいい思い出になりました

### 久木迫璃央

今回、私たちのクラスでは「十二支の始まり」を劇で行いました。劇ということで、台本、大道具・小道具、衣装など様々な準備が必要でした。話し合いから始まり、台本と照らし合わせながら、道具作りに必要な材料、衣装で必要な材料などを話し合い、決めていきました。私は主に道具係としての役割をしました。作業をしていく中でみんなへ指示出しができていなかったり、委員として積極的に前に立つことができていなかったり、たくさんの迷惑をかけたこともあります。クラスのみんなで協力し合いながらひとつひとつの道具を完成させ、作業をスムーズに行うことができたなと思います。

また、練習では空き授業や、放課後などの時間などで計画を立てていきながら練習を進めていました。全員が集まらなかった時は代役をするなど協力して練習をしていました。練習を繰り返していく中で全体の流れを掴みながら台詞の調整、変更をしたりお互いに考えたりしながら練習することができました。本番が近づくにつれて道具の出し入れのタイミングを考え、実際に道具を使いながら練習を1回ずつ確認し、練習に取り組んでいきました。

遊びと表現発表会を通して、クラスで協力して1つのことをしていくこと、作業や練習を計画的に行っていくこと、指示を出して全体をまとめることなど大切なことを学ぶこと

が出来たと思います。保育者としてこれらのこととは大切になっていくと感じました。劇をして、Iクラスらしい作品ができたし、本番でも子どもたちが盛り上がってくれて、大変な部分も多くあったが、劇をして良かったと感じています。今回の経験を大切にしたいです。



### 桑原千穂

今回の遊びと表現発表会では、「十二支のはじまり」をしました。始めは「手ぶくろ」、「はらぺこあおむし」、「十二支のはじまり」の3つの絵本でどれをするかと遊びと表現委員で読み聞かせを行い、2年生全員で話し合いをしました。話し合いの結果、「十二支のはじまり」をしようと決まり、衣装担当、道具担当、台本担当にそれぞれ分かれました。私は衣装担当となり、ノートにそれぞれの動物の特徴をインターネットで調べ、描きました。皆の参考になれるように頑張りました。

そして、次に「十二支のはじまり」の配役として私は鼠を演じました。もともと演じる事には興味があるので、ドキドキとワクワクでいっぱいでした。実際にやってみると難しい事だらけで、声がでているか、滑舌は大丈夫かなと不安になりました。声の出し方については先生やクラスメイトにも教えてもらいながら、演じました。本番では緊張はしていたけれど、楽しくいつも通りに出来たと思います。先生にも「どんどん良くなっていた」と言われ、凄く嬉しかったです。

また、本番までにはいざこざもあり、大変な時もあったけれど、最終的には子どもたちに喜んでもらい、楽しそうにしてくれていたので大成功なんじゃないかなと思います。全部を通して、良い体験となりました。



### 笠井春希

私は、十二支の虎役を演じました。裏設定として、運動会をテーマとして何をするか考えました。十二支でペアになり、兎とペアになりました。虎と兎では、障害物競走を取り入れ、米袋、かけっこをしました。米袋は、二つの米袋を繋げ、大きくして飛びやすくしました。足元が開いているので、余り見えないよう気を付けながら本番は飛びました。ペアになり、台詞を考えたり、内容を考えたりと、協力することが出来ました。練習では、虎と兎の場面が一番心配されていました。声が小さいことが問題点で、クラスの人にはアドバイスなどを貰いながら、声を出す練習をしました。練習している内に、少しづつ声の大きさが変わりました。本番は上手く出すことが出来ました。

クラスの皆が居たから、素敵な劇が完成したのだと思います。皆で意見を出し合い、共有することで、足りないところや、もっと良くなる所などが発見できた為だと思います。



### 進藤希代子

遊びと表現発表会では、子ども達に表現の楽しさや喜びを伝えられるように、これまでの学びを活かして準備や発表に取り組みました。

他クラスの様々なメッセージや表現を感じることもでき、多くの学びを得ることができました。表現を通して、子ども達の豊かな感性や心を育むことができる保育者になりたいと思いました。

### 松瀬和子

遊びと表現発表会は、二年生にとっては集大成でもあり、クラスでする最後の取り組みでした。

私は、裏方の方で作業をすることでしか関わっていませんがその中で、気になったことなど委員を中心に伝える形でしてきました。そのことをとおして、劇を作り上げる大変さや、クラスで一つのものを作り上げる大切さを「十二支の始まり」を通して沢山学ぶ機会だったと思います。一つ一つの積み重ねをしながら、皆で何度も練習をしながら苦手なことも頑張って努力していたと思います。台詞の言葉もゆっくり伝えることで、聞きやすくてもらえる子ども達に、語りかけるように話すことを意識しながら、伝えることは大事

なことだと気付きました。クラス全体では、ぶつかることもあり不安や悩んだりすることもありました。その中で、気になる子がいたら話を聞くように心がけていました。分からぬことなど、どうしたらいいのか悩んだりする中で、アドバイスも伝えながら前向きになれるように、少しでも支えになれたらしいと思い声かけをしました。

本番では、子ども達も楽しそうに動物の行動を観ていたように思います。観てもらう人たちに、どう伝わるか動きを大きく表現することが大事なことも知りました。この経験を保育の現場でも、活かせるよう精進したいと思いました。



### 松延美奈

今回遊びと表現発表会で「十二支のはじまり」をやってみて、1から劇作りを行う大変さを学びました。劇の中で私は神様として出演しました。何度か神様の設定が変わり戸惑うこともありましたが、クラスの人達が優しくアドバイスをしてくれたのでなんとかやり遂げることが出来ました。

「十二支のはじまり」の劇を行う中で意見のぶつかり合いや、なかなかスムーズに行かない場面もありましたが、それがあったからこそいい劇を作り上げることが出来たのかなと思いました。

また、私は遊びと表現委員も担当しており、全員の時間割を確認した上で空きコマなどが集まる時間は空き教室を確保したりと大変なこともあったが、遊びと表現発表会が終わった後には遊びと表現委員をやって良かったと達成感を感じることが出来ました。一人では絶対にやり遂げることができなかつたと思うので他の遊びと表現委員やクラスの皆が協力をしてくれたからこそ出来たのだと思いました。

最後に、本番を迎えるまで沢山の不安がありましたが無事に終えることが出来て良かったです。Iクラス皆で「十二支のはじまり」という劇を行えたことは学校生活の中でいい思い出になりました。

### 宮本千穂

遊びと表現発表会を通して、さまざまな事を学ぶことが出来ました。準備の段階では、全員で話し合いを行いながら台本や道具、衣装などを1から考えたため衝突が沢山あり、スムーズにはいきませんでした。しかし、先生方の助言を活かし、練習や話し合いを重ねるごとに良い劇になっていることは実感していました。そのため、本番では納得のいく劇

を作り上げることが出来、子ども達やお客様の反応も良かったため嬉しかったし、頑張ってきて良かったと思いました。1クラスで劇をすることが出来て良かったです。

今回、さまざまな衝突をしたことで、話し合いをすることや、全員で協力して取り組むことの大切さを感じることが出来ました。保育現場では、上記の事を行うのは大切だと思います。そのため、今後保育現場に出た際に、意識しながら取り組んでいきたいと思います。とても良い経験になりました。

### 【1年】



### 池末留奈

遊びと表現発表会は初めてのことでの最初は何をすればいいのか全然分からませんでした。だけど、みんなでどんなことをしたいかを話し合ったり、先生にアイデアをもらったりして、少しずつ形にすることが出来ました。練習は、最初はなかなか人数が揃わなかったり、セリフを覚えきれずよく止まって時間が空いてしまったりしました。練習を重ねていくうちにセリフも覚え、更にアドリブを加えよりよい幕間を完成させることが出来ました。

本番も緊張しましたが楽しそうに見てもらえたので嬉しかったです。2年生の劇もすごく盛りあがっていて楽しそうだったので、来年私達もこんな風に2年生のような劇を創れるように頑張りたいです。

### 糸山憲汰郎

遊びと表現発表会に参加し、私は猪の役をもらい、初めはどうしていいのかよく分からなかったのですが、先輩方は一つ一つ丁寧に教えてくださいました。また、先輩方の姿か

ら学んだことが沢山ありました。

特に、協力をしていく中で相手に物事を伝えることの大切さを学びました。劇の練習中、話し合いを進めていくなかで、先輩方は何度もぶつかっていました。ですが、それがあつたからこそ、お互いに高め合うことができ、より良い劇ができたと思います。

さらに、一つの劇を完成させるためには、長い時間と協力する力が必要だと思いました。クラスメイトなどに厳しい言葉をかけると、自分だったら嫌われたらどうしようなど考えてしまいます。ですが、みんなが1つの目標を達成させよう、劇をさらにより良いものにしようと思ったことを言葉にしていく姿がありました。そんな中でも関係は崩れず、それを受け入れる関係を作ることが大切なんだと学びました。

来年は、先輩方から学んだことを活かし、良いものを創り上げたいです。



### 江崎直美

劇が終わり、幕が降りたあと、子どもたちが「もう終わったとー？」「おもしろかったー！」などと言っていたのを聞いて、少しお手伝いをさせていただいた私でも、誇らしく、とても嬉しかったです。主となって活動をした先輩方が、実際に子どもたちの声を聞けていたらなと思いました。また、最後のミーティングでは、先輩が涙ながらに話していたのを聞いて、それだけ遊びと表現発表会にかけた想いは強かったんだと改めて感じました。私たち1年生が練習に参加し始めた時には、既に脚本は出来上がっていて、小道具も全て揃っていました。たった20分のひとつの劇のために、その何十倍もの時間と努力を重ね、創りあげていく様子を近くで見ることができました。そして、終わってみて改めて、本当に素敵な作品が出来上がったんだと思いました。

そんな作品にピアノの伴奏として参加できたことを嬉しく思います。

### **佐田美怜**

今回の遊びと表現発表会では自分自身の課題について再認識することができました。

遊びの中での表現を1つ1つ考えていくと奥深いもので、表現の細かい部分も大切にしていきたいと思いました。

貴重な経験をさせていただきありがとうございました。



### **富松一華**

私は遊びと表現発表会を通して、協力することの大切さを学びました。

初めての遊びと表現発表会、他のクラスと比べかなり少い人数ということもあって、なかなか幕間の内容は決まりませんでした。段々と日にちも迫り、全員が追い込まれていました。そこで、なんとなく担任の先生に「何かいいアイデアないですか？」と相談したところ、先生から素晴らしいアイデアを頂きました。それからはそのアイデアを元に話し合いをしながら工夫を重ね、内容が決まり練習が始まると、みんなで協力して、たった3分の幕間を素晴らしいものにするために沢山努力をしました。そのおかげか、本番では楽しく、どこのクラスにも負けないものが出来ました。周りからも「面白かった」などの声をかけてもらい、みんなと協力して頑張って良かったと思うことが出来ました。

他にも、2年生の発表のお手伝いができたことも、とても良かったと思います。今まで同じクラスであっても、なかなか先輩と関わる機会はありませんでした。しかし、この遊びと表現発表会の練習などを通して、優しく頼もししい先輩方がいることを知りました。残り短い期間ですが、先輩方と共にIクラスをより良いクラスにしていきたいと思います。

### **芳野瑠理**

私は今回の遊びと表現発表会で、仲間と協力することの大切さを学び、楽しさを分かち合うことができました。

二年生の劇に音響係として関わらせて頂きました。劇を盛り上げる重要な係で、練習、本番と緊張しましたが、とても良い経験となりました。

一年生全体では幕間を発表しました。練習ではなかなか進まず私が皆の、足でまといになる時もありました。本番は、今までで一番良い幕間となりました。

発表会を通して、クラスの絆がより一層深まったと思います。このクラスで発表ができたことを誇りに思います。